

■第1部 パネルディスカッション

内容：各エリアの現状・課題、取り組みについて意見交換

[主な意見]

○村上 富哉 | 港島自治連合協議会

- ・まちびらきから40年経つと、木の根が舗装を持ち上げるなどの問題が発生していることから、住民・行政からなる「まちあるき点検隊」をつくり、まちの課題解決に向けて取り組んでいる。
- ・リボーン計画については非常に期待している。ここで生まれ育った人が戻ってくるような立派なまちにしていきたい。

○江田 英里香 | 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 准教授

- ・地域から学ぶという視点から、学生が地域のイベント等に参加する等、地域と関わっていく取り組みを積極的に行っている。
- ・ポートピア大通りのみなとじま駅を境に、まちが東西に分断されていることが課題だと感じており、地域と学生が交流するきっかけ・拠点、子どもたちの遊び場・高齢者の集う場所をつくりたいと考え、まちライブラリーみなとじまを設立。

○伊藤 剛 | 株式会社神戸ポートピアホテル 取締役 執行役員 総支配人

- ・（令和5年4月より）市民広場の指定管理者として活動を開始し、地域の人が親しんで・交流できるような広場にしたいと考えており、今年はちびっこ防災フェア、大人向けの音楽イベント等を実施してきた。島内には医療系の企業も多いことから、今後は、健康をテーマにしたイベントも実施していきたいと考えている。
- ・MICEの会場の一部としての市民広場の活用も検討していきたい。

○久保 拓也 | 八十島プロシード株式会社 神戸支店 支店長

- ・神戸で医療産業の活動をしていることは、業界内で自慢できるステータスであり、島内で開催される学会へ参加する企業と打合せする機会も多い。
- ・企業間連携の取り組みを行っているが、ランチの場での交流等、もう少し簡単なところをきっかけに連携が出来ればと考えている。

○杉本 浩康 | 交友印刷株式会社 代表取締役

- ・ポートアイランドは、広い区画があり働きやすい一方で、住民や学生と交流する機会がなく、働くだけの場所になっていることが課題だと感じている。
- ・PISCA（ポートアイランド第2期企業自治協議会）の活動では、朝の清掃や交流会を行っている。

■第2部 意見交換

内容：各エリアの取り組みについてシンポジウム参加者の意見も取り上げながら意見交換

[主な意見]

○村上 富哉 | 港島自治連合協議会

- ・阪神淡路大震災もあったことから、防災に強いまちを心掛けており防災に対する住民の意識づけを行うことを目的に、防災委員会を設立。
- ・海の中に島があるのに、海が感じられない。川・池・公園もなく、ゆったりと過ごすような場所が欲しいという意見も聞いている。

○江田 英里香 | 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 准教授

- ・島内のイベントの情報共有を目的に、神戸学院大学生がデジタルでの情報共有ツール（ためマップ）を企画作成しており、このようなツールを活かしていきたい。
- ・ポートアイランドは何もないと言われるが、このまちの財産は、住民、学生、企業等がアイデアやスキルを持っていることだと考えており、そういった方々を活かしながら、学生や地域の方々が利用できる場所を作れば良いのではと考えている。

○伊藤 剛 | 株式会社神戸ポートピアホテル 取締役 執行役員 総支配人

- ・市民広場は人が集まる場所であるものの、周辺に商業施設等があまりないため、検討する必要があると考えている。また、緑というキーワードが出たが、市民広場に近接するひまわり公園は緑豊かであり、市民広場と一体的に活用したイベント等も考えて良いのではと感じている。
- ・ファッションタウンには、アシックスなどの本社機能もあることから、例えば、そのような企業を通じてポートアイランドの魅力を発信するなどして、うまく新しい企業を誘致し活性化できるのではないかと感じている。

○久保 拓也 | 八十島プロシード株式会社 神戸支店 支店長

- ・医療産業都市として、企業間連携により更なるイノベティブなものをつくり出していきたいと考えてる。まずは人と人との関係、特に若い方同士の関係を築き、そこで刺激を受け新しいものを生み出していくのがゴールだと考えている。

○杉本 浩康 | 交友印刷株式会社 代表取締役

- ・まちづくりに関わりたいという思いはあるが、業務がある中で難しい状況。今はPISCAで行う年に数回のイベントに参加する程度で、企業間の交流が不足していると感じている。
- ・まちライブラリーもこれまで知らなかったが、行くと活気があり、我々企業側の方々も見た方が何かのヒントに繋がるのではと感じた。

■Slidoの主な意見（意見数：85）

Slido：参加者との意見交換WEBサービス

- ・小学生、中学生、高校生、大学生、未来を支える若者・子どもたちの意見も聞いてみたい。
- ・「子育てするならポートアイランド！」と思ってもらえるような場所にしていきたいです。友人等からは「ポーアイに住んでるの？」「ポーアイに人住んでるの？」と言われることがあり複雑な思いです。ポーアイの魅力を高めて発信していきたいです。
- ・大学生です。ポートアイランドに住んでいますが、私たち若い世代が気軽に集える場所が少なく感じます。遊ぶ/集まる場所がほぼなく島外で完結させるという決して快適とは言い難い現状ですが、何か若者にとって魅力的な空間作りを検討して頂きたいです。
- ・ベビーからお年寄りまで、誰でも集える老若男女の地域の居場所として、まちライブラリーみなとじまを住民たちで運営しています。ここまでは住民たちで作ってきましたが、ここからはポーアイの企業さんや、神戸市の力も集結して、街の公共空間としてのおしゃれなコミュニティライブラリーを、ぜひ中心部につくってほしいです！
- ・幼少期からの住民として、不安と期待が混在しています。「街が賑わう」は、観光客のような外から人を呼ぶのではなく、「住む人たちが元気になる」という視点であって欲しいです。住民主体の街づくりであってほしいです。ポーアイの人はポーアイを愛しています。その気持ちに寄り添っていただければ皆さん積極的に参画してくださるはずです。

■アンケート結果 (回答数 : 45)

